

西中谷橋 数量総括表(その1)

1式当り

工 種	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ひびわれ注入工			式	1	
	ひびわれ注入	エポキシ樹脂1種	m	0.2	
ひびわれ充填工			式	1	
	ひびわれ充填	可とう性エポキシ樹脂	m	7	
断面修復工			式	1	
	断面修復	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.2	下部工
剥落防止対策工			式	1	
	下地処理工		m ²	15	
	剥落防止対策工	シート系	m ²	15	
伸縮装置取替工			式	1	
	伸縮装置取替	A1J-30同等品以上	m	4.6	A1橋台
		A1J-20同等品以上	〃	4.6	A2橋台
	既設伸縮装置撤去		t	0.01	
	コンクリート取壊し		m ³	0.3	
	止水材	シリコーン#70同等品以上	m ³	0.001	
	プライマー塗布	シリコーン用	m ²	0.08	
	バックアップ材	発泡ポリウレタン	m ²	0.06	
舗装工			式	1	
	不陸整正工	RC-40 t=50mm	m ²	51	
	舗装工	表層 再生密粒度アスコン(13) t=40mm	m ²	51	
	舗装版破碎工	コンクリート舗装版 t=70mm(平均)	m ²	2	伸縮装置部
		アスファルト舗装版 t=80mm	〃	51	背面道路部
	舗装版取壊し	コンクリート舗装版	m ³	0.1	
		アスファルト舗装版	〃	5	
	舗装版切断	コンクリート舗装版	m	9	伸縮装置部
		アスファルト舗装版	〃	5	背面道路部
防護柵部分取替工			式	1	
	防護柵部分取替延長		m	2.8	
	丸鋼	φ19	本	4	SR235相当
	溶融垂鉛めっき	HDZ55	本	4	
	現場溶接	すみ肉溶接	m	0.5	
	防護柵部分撤去延長		m	2.8	
	防護柵部分撤去重量		t	0.006	
	切断	丸鋼 φ19	m	8	

西中谷橋 数量総括表(その3)

1式当り

工 種	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
変位制限構造撤去復旧工			式	1		
	コンクリート	30-8-25BB	m ³	0.8		
	型 枠	一般型枠	m ²	6		
	鉄 筋	D29~D32	SD345	kg	210	
		D16~D25	〃	〃	100	
		D13	〃	〃	—	
		合 計	SD345	〃	310	
	下 地 処 理	チップング	m ²	2		
	ア ン カ ー 工	下方向 D32	本	24		
	緩衝材	緩衝材	クロロプレネゴム 硬度55° ±5° 程度	m ²	0.3	t=50mm
		寸切りボルト	M12×200 SS400	個	16	
		ナット	M12 SS400	個	32	
		ワッシャー	M12 SS400	個	32	
	溶 融 亜 鉛 メ ッ キ	HDZ35	t	0.001		
	コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m ³	0.8		
	コンクリート削孔	φ42×480	孔	24	コアボーリングマシン	
縁端拡幅撤去復旧工			式	1		
	コンクリート	30-8-25BB	m ³	4		
	型 枠	一般型枠	m ²	15		
	鉄 筋	D29~D32	SD345	kg	—	
		D16~D25	〃	〃	670	
		D13	〃	〃	—	
		合 計	SD345	〃	670	
	下 地 処 理	チップング	m ²	5		
	ア ン カ ー 工	横方向 D25	本	90		
	コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m ³	4		
	コンクリート削孔	φ35×385	孔	90	コアボーリングマシン	
	支 保	パイプサポート支保	式	1	40kN/m ² 以下	
仮 設 工			式	1		
	飛散防止シート	メッシュシート	m ²	120		
足 場 工			式	1		
	単管傾斜足場		式	1		
	手摺先行型枠組足場		式	1		
	板 張 防 護		m ²	250		
	シ ー ト 張 防 護		m ²	250		

西中谷橋 ひびわれ注入工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ひ び わ れ 注 入	エポキシ樹脂1種	m	0.2	

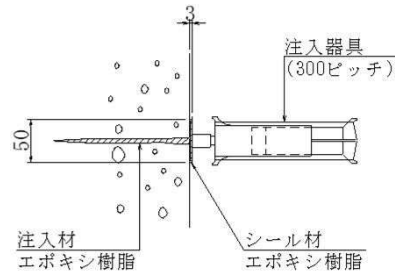
西中谷橋 ひびわれ注入工数量計算書

ひびわれ注入 (エポキシ樹脂1種)

L = ひびわれ注入数量計算書より

= 0.2 m

ひびわれ注入 数量計算書



100m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
樹 脂 注 入 材	エポキシ樹脂1種	kg	19.1	比重1.15
シ ー ル 材	エポキシ樹脂1種	kg	25.5	比重1.70
注 入 器 具		本	333	

数量計算

樹脂注入材 $W = 0.00005 \text{ m}^3 \times 1150 \frac{\text{kg}}{\text{m}^3} \times 333 \text{ 本} = 19.1 \text{ kg}$

シール材 $W = 0.05 \times 0.003 \times 1700 \frac{\text{kg}}{\text{m}^3} \times 100.0 \text{ m} = 25.5 \text{ kg}$

注入器具 $N = 100.0 \text{ m} \div 0.30 = 333 \text{ 本}$

西中谷橋 ひびわれ充填工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ひ び わ れ 充 填	可とう性エポキシ樹脂	m	6.9	

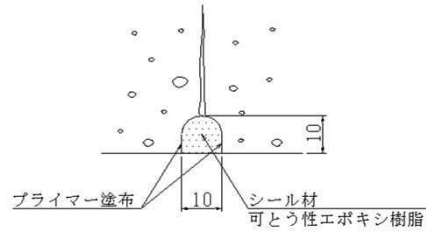
西中谷橋 ひびわれ充填工数量計算書

ひびわれ充填(可とう性エポキシ樹脂)

L = ひびわれ充填数量計算書より

= 6.9 m

ひびわれ充填 数量計算書



100m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
シ ー ル 材	可とう性エポキシ樹脂	kg	13.0	比重1.30
プ ラ イ マ ー 材	エポキシ樹脂	kg	1.0	標準0.5kg/m ² 使用

数量計算

シーリング材 $W = 0.01 \times 0.01 \times 1300 \text{ kg/m}^3 \times 100.0 \text{ m} = 13.0 \text{ kg}$

プライマー材 $W = 0.01 \times 2 \times 0.5 \text{ kg/m}^2 \times 100.0 \text{ m} = 1.0 \text{ kg}$

西中谷橋 断面修復工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
断 面 修 復	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.2	下部工

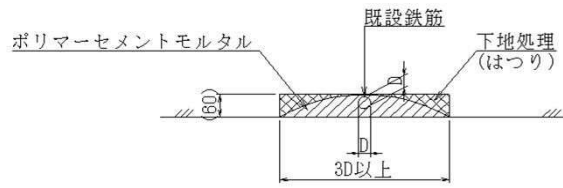
西中谷橋 断面修復工数量計算書

断面修復(ポリマーセメントモルタル)

$$A = \text{断面修復(下部工)数量計算書より} = 2.57 \text{ m}^2$$

$$V = 2.57 \times 0.06 = 0.2 \text{ m}^3$$

断面修復(下部工) 数量計算書



1m ³ 当り				
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
断 面 修 復 材	ポリマーセメントモルタル	m ³	1.0	鉄筋防錆処理含む
下 地 処 理		m ²	16.7	はつり60mm

数量計算

断面修復材

$$V = 1.0 \text{ m}^3$$

下地処理

$$A = 1.0 \text{ m}^3 / 0.06$$

$$= 16.7 \text{ m}^2$$

西中谷橋 剥落防止対策工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
剥 落 防 止 対 策	下 地 処 理 工	m ²	15.3	
	シート系	m ²	15.3	

西中谷橋 剥落防止対策工数量計算書

剥落防止対策

正面 $0.95 \times 4.50 \times 2$	=	8.6 m ²
下面 $(0.23 + 0.29) \times 4.50 \times 2$	=	4.7 "
側面 $(0.46 \times 1.10 - 1/2 \times 0.17 \times 0.15) \times 2 \times 2$	=	2.0 "
ΣA	=	15.3 m ²

西中谷橋 伸縮装置取替工数量集計表

1式当り

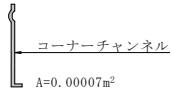
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
伸 縮 装 置 取 替	AIJ-30同等品以上	m	4.62	A1橋台
	AIJ-20同等品以上	〃	4.62	A2橋台
既 設 伸 縮 装 置 撤 去		t	0.010	
コ ン ク リ ー ト 取 壊 し		m ³	0.3	
止 水 材	シリコーン#70同等品以上	m ³	0.001	
プ ラ イ マ ー 塗 布	シリコーン用	m ²	0.08	
バ ッ ク ア ッ プ 材	発泡ポリウレタン	m ²	0.06	

西中谷橋 伸縮装置取替工数量計算書

伸縮装置取替

a). A1橋台 (AIJ-30同等品以上)	L =	4.62 m
b). A2橋台 (AIJ-20同等品以上)	L =	4.62 m

既設伸縮装置撤去



$$W = 0.00007\text{ m}^2 \times 2 \times 4.62 \times 7850\text{ kg/m}^3 \times 2 = 10\text{ kg}$$

※ 既設の伸縮装置はカットオフジョイントと想定した。

コンクリート取壊し

$$V = (0.35 + 0.10) \times 0.07 \times 4.62 \times 2 = 0.3\text{ m}^3$$

止水材 (シリコーン#70同等品以上)

A1橋台 $0.02 \times 0.02 \times (0.40 + 0.10) \times 2$	=	0.0004 m ³
A2橋台 $0.04 \times 0.02 \times (0.40 + 0.10) \times 2$	=	0.0008 "
ΣV	=	0.001 m ³

プライマー塗布 (シリコーン用)

A1橋台 $0.02 \times 2 \times (0.40 + 0.10) \times 2$	=	0.04 m ²
A2橋台 $0.02 \times 2 \times (0.40 + 0.10) \times 2$	=	0.04 "
ΣA	=	0.08 m ²

バックアップ材 (発泡ポリウレタン)

A1橋台 $0.02 \times (0.40 + 0.10) \times 2$	=	0.02 m ²
A2橋台 $0.04 \times (0.40 + 0.10) \times 2$	=	0.04 "
ΣA	=	0.06 m ²

伸縮装置取替(A1橋台) 数量計算書

4.62m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
荷重支持型ジョイント	AIJ-30同等品以上	m	4.62	二重止水装置付き
鉄 筋	SD345 , D13	t	0.019	
後打ちコンクリート	超速硬コンクリート	m ³	0.2	$\sigma_{3h}=24\text{N}/\text{mm}^2$
異 形 ア ン カ ー	D13×100	本	96	

数量計算

荷重支持型ジョイント L = 4.62 m

鉄筋 a).D13 $2.36 \times 0.995^{\text{kg/m}} \times 8$ = 19 kg

後打ちコンクリート $V = (0.35 + 0.32) \times 0.07 \times 4.62$ = 0.2 m³

異形アンカー N = 96 本

伸縮装置取替(A2橋台) 数量計算書

4.62m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
荷重支持型ジョイント	AIJ-20同等品以上	m	4.62	二重止水装置付き
鉄 筋	SD345 , D13	t	0.019	
後打ちコンクリート	超速硬コンクリート	m ³	0.2	$\sigma_{3h}=24\text{N}/\text{mm}^2$
異 形 ア ン カ ー	D13×100	本	96	

数量計算

荷重支持型ジョイント L = 4.62 m

鉄筋 a).D13 $2.36 \times 0.995^{\text{kg/m}} \times 8$ = 19 kg

後打ちコンクリート $V = (0.35 + 0.31) \times 0.07 \times 4.62$ = 0.2 m³

異形アンカー N = 96 本

西中谷橋 舗装工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
舗 装 工	不陸整正工 RC-40 t=50mm	m ²	50.8	
	表層 再生密粒度アスコン(13) t=40mm	m ²	50.8	
舗 装 版 破 碎 工	コンクリート舗装版 t=70mm(平均)	m ²	2.0	伸縮装置部
	アスファルト舗装版 t=80mm	//	50.8	背面道路部
舗 装 版 取 壊 し	コンクリート舗装版	m ³	0.1	
	アスファルト舗装版	//	4.6	
舗 装 版 切 断	コンクリート舗装版	m	9.2	
	アスファルト舗装版	m	4.6	

西中谷橋 舗装工数量計算書

舗装工

a). 不陸整正工 (RC-40 t=50mm)

①	=	$1/2 \times 10.59 \times 2.83$	=	15.0 m ²
②	=	$1/2 \times 10.59 \times 2.83$	=	15.0 "
③	=	$1/2 \times 8.51 \times 2.44$	=	10.4 "
④	=	$1/2 \times 8.51 \times 2.44$	=	10.4 "
			ΣA	= 50.8 m ²

b). 表層 (再生粗粒度アスコン(13) t=40mm)

①	=	$1/2 \times 10.59 \times 2.83$	=	15.0 m ²
②	=	$1/2 \times 10.59 \times 2.83$	=	15.0 "
③	=	$1/2 \times 8.51 \times 2.44$	=	10.4 "
④	=	$1/2 \times 8.51 \times 2.44$	=	10.4 "
			ΣA	= 50.8 m ²

舗装版破碎工

a). 伸縮装置部 : コンクリート舗装版 t=70mm(平均)

A1	0.22 × 4.62	=	1.0 m ²
A2	0.21 × 4.62	=	1.0 "
			ΣA = 2.0 m ²

b). 背面道路部 : アスファルト舗装版 t=80mm

①	=	$1/2 \times 10.59 \times 2.83$	=	15.0 m ²
②	=	$1/2 \times 10.59 \times 2.83$	=	15.0 "
③	=	$1/2 \times 8.51 \times 2.44$	=	10.4 "
④	=	$1/2 \times 8.51 \times 2.44$	=	10.4 "
			ΣA	= 50.8 m ²

舗装版取壊し

a). コンクリート舗装版

$$V = 2.0 \times 0.07 = 0.1 \text{ m}^3$$

b). アスファルト舗装版

$$V = 50.8 \times 0.09 = 4.6 \text{ m}^3$$

舗装版切断

a). コンクリート舗装版 (伸縮装置部)

$$L = 4.62 + 4.62 = 9.2 \text{ m}$$

b). アスファルト舗装版

$$L = 4.6 \text{ m}$$

西中谷橋 防護柵部分取替工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
防護柵部分取替延長		m	2.8	
丸 鋼	φ 19	本	4.0	SR235相当
溶 融 亜 鉛 め っ き	HDZ55	本	4.0	
現 場 溶 接	すみ肉溶接	m	0.5	
防護柵部分撤去延長		m	2.8	
防護柵部分撤去重量		t	0.006	
切 断	丸鋼 φ 19	箇所	8	

西中谷橋 防護柵部分取替工数量計算書

防護柵部分取替延長

$$L = 0.69 \times 4 = 2.8 \text{ m}$$

丸鋼 (φ 19)

$$W = 2.23^{\text{kg/m}} \times 0.69 \times 4 = 6 \text{ kg} = 4 \text{ 本}$$

溶融亜鉛めつき (HDZ55)

$$W = 2.23^{\text{kg/m}} \times 0.69 \times 4 = 6 \text{ kg} = 4 \text{ 本}$$

現場溶接 (すみ肉溶接)

$$L = 0.02 \times \pi \times 2 \times 4 = 0.5 \text{ m}$$

防護柵部分撤去延長

$$L = 0.69 \times 4 = 2.8 \text{ m}$$

防護柵部分撤去重量

$$W = 2.23^{\text{kg/m}} \times 0.69 \times 4 = 6 \text{ kg}$$

切断 (丸鋼 φ 19)

$$N = 2 \times 4 = 8 \text{ 箇所}$$

西中谷橋 投物防止柵部分取替工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
投物防止柵部分取替延長		m	9.6	
縦 胴 縁	R付L-40×40×3	本	3	SS400 めっき品
中 間 孔 付 胴 縁	R付L-40×40×3	本	4	SS400 めっき品
丸 鋼	φ 6.0	本	3	SR235相当 めっき品
網 押 え 金 具	19×26	個	37	SPHC めっき品
縦 胴 縁 取 付 BN	M8×20	組	9	SUS304
網 押 え BN	M8×32	組	37	SUS304
中 間 胴 縁 取 付 BN	M8×65	組	3	SUS304
投物防止柵部分撤去延長		m	9.6	
投物防止柵部分撤去重量		t	0.017	

西中谷橋 投物防止柵部分取替工数量計算書

投物防止柵部分取替延長

$$L = 1.88 + 4.00 + 1.88 \times 2 = 9.6 \text{ m}$$

縦胴縁 (R付L-40×40×3)

$$W = 1.79 \text{ kg/m} \times 1.88 \times (1 + 1 \times 2) = 10 \text{ kg} = 3.0 \text{ 本}$$

中間孔付胴縁 (R付L-40×40×3)

$$W = 1.79 \text{ kg/m} \times 4.00 = 7 \text{ kg} = 4.0 \text{ 本}$$

丸鋼 (φ 6.0)

$$W = 0.22 \text{ kg/m} \times 1.87 \times (1 + 1 \times 2) = 1 \text{ kg} = 3.0 \text{ 本}$$

網押え金具 (19×26)

$$N = 23 + 7 \times 2 = 37 \text{ 個}$$

縦胴縁取付BN (M8×20)

$$N = 3 + 3 \times 2 = 9 \text{ 組}$$

網押えBN (M8×32)

$$N = 23 + 7 \times 2 = 37 \text{ 組}$$

中間胴縁取付BN (M8×65)

$$N = 3 \text{ 組}$$

投物防止柵部分撤去延長

$$L = 1.88 + 4.00 + 1.88 \times 2 = 9.6 \text{ m}$$

投物防止柵撤去重量

$$\text{縦胴縁 } 1.79 \text{ kg/m} \times 1.88 \times (1 + 1 \times 2) = 10 \text{ kg}$$

$$\text{中間孔付胴縁 } 1.79 \text{ kg/m} \times 4.00 = 7 \text{ kg}$$

$$\Sigma W = 17 \text{ kg}$$

西中谷橋 排水装置補修工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
排 水 管	VP150	m	0.2	
伸 縮 継 手	VP150用 DB可とう継手S型同等品以上	個	1	
丸 鋼	φ12×700(両側ねじ切り)	本	4	SR235相当 HDZ35
ナット・ワッシャー	M12	組	4	SS400相当 HDZ55
本体打込み式アンカー	M12	個	4	SS400相当
溶 融 亜 鉛 め っ き	HDZ55	t	0.002	
	HDZ35	〃	0.00008	
排 水 管 撤 去	VP150	m	0.4	
丸 鋼 撤 去	φ12×700	t	0.002	
切 断	VP150	箇所	1	
	丸鋼 φ12	箇所	4	

西中谷橋 排水装置補修工数量計算書

排水管 (VP150)		L =	0.2 m
伸縮継手 (VP150用 DB型可とう継手S型同等品以上)		N =	1 個
丸鋼 (φ 12×700(両側ねじ切り))	HDZ35	=	4 本
$W = 0.89^{\text{kg/m}} \times 0.70 \times (2 \times 2)$	=		2 kg
ナット・ワッシャー (M12)	HDZ55	=	4 組
$N = 2 \times 2$			
本体打込み式アンカー (M12)		=	4 個
$N = 2 \times 2$			
溶融亜鉛めっき			
a). HDZ55			
$W = 0.89^{\text{kg/m}} \times 0.70 \times (2 \times 2)$		=	2 kg
b). HDZ35			
$W = 0.02^{\text{kg/組}} \times (2 \times 2)$		=	0.08 kg
排水管撤去 (VP150)		L =	0.4 m
丸鋼撤去 (φ 12×700)			
$W = 0.89^{\text{kg/m}} \times 0.70 \times (2 \times 2)$		=	2 kg
切断			
a). VP150		N =	1 箇所
b). 丸鋼 φ 12			
$N = 2 \times 2$		=	4 箇所

西中谷橋 支承防錆工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
支 承 防 錆	金属溶射	基	2	可動 70t
	〃	〃	2	固定 70t

西中谷橋 支承防錆工数量計算書

支承防錆(金属溶射)

a). 可動 70t

N = 2 基

b). 固定 70t

N = 2 基

西中谷橋 変位制限構造撤去復旧工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	
コンクリート	30-8-25BB	m ³	0.8		
型 枠	一般型枠	m ²	5.6		
鉄 筋	D29~D32	SD345	kg	208	
	D16~D25	〃	〃	104	
	D13	〃	〃	—	
	合 計	SD345	〃	312	
下 地 処 理	チップング	m ²	1.6		
ア ン カ ー 工	下方向 D32	本	24		
緩 衝 材	緩衝材	クロロプレンゴム 硬度55° ±5° 程度	m ²	0.3	t=50mm
	寸切りボルト	M12×200 SS400	個	16	
	ナット	M12 SS400	個	32	
	ワッシャー	M12 SS400	個	32	
溶 融 亜 鉛 メ ッ キ	HDZ35	t	0.001		
コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m ³	0.8		
コンクリート削孔	φ42×480	孔	24	コアボーリングマシン	

西中谷橋 変位制限構造撤去復旧工数量計算書

コンクリート (30-8-25BB)

$$V = 0.50 \times 0.81 \times 0.50 \times 4 = 0.8 \text{ m}^3$$

型枠 (一般型枠)

$$A = (0.81 + 0.58) \times 0.50 \times 2 \times 4 = 5.6 \text{ m}^2$$

鉄筋 (SD345)

a). 質量

D29 ~ D32		
D32	=	208 kg
D29	=	— "
<hr/>		
w1	=	208 kg
D16 ~ D25		
D25	=	— kg
D22	=	— "
D19	=	— "
D16	=	104 "
<hr/>		
w2	=	104 kg
D13	=	— kg
<hr/>		
ΣW	=	312 kg

下地処理 (チッピング)

$$A = 0.50 \times 0.81 \times 4 = 1.6 \text{ m}^2$$

アンカー工 (下方向 D32)

$$N = 6 \times 4 = 24 \text{ 本}$$

緩衝材

a). 緩衝材 (クロロプレンゴム 硬度55° ±5° 程度)

$$A = 0.40 \times 0.20 \times 4 = 0.3 \text{ m}^2$$

b). 寸切りボルト (M12×200 SS400)

$$N = 4 \times 4 = 16 \text{ 個}$$

c). ナット (M12 SS400)

$$N = 8 \times 4 = 32 \text{ 個}$$

d). ワッシャー (M12 SS400)

$$N = 8 \times 4 = 32 \text{ 個}$$

溶融亜鉛メッキ (HDZ35)

$$\text{ボルト } 0.04 \times 1.000 \text{ kg/m} \times 16 = 0.6 \text{ kg}$$

$$\text{ナット } 0.017 \text{ kg/個} \times 32 = 0.5 \text{ "}$$

$$\text{ワッシャー } 0.005 \text{ kg/個} \times 32 = 0.2 \text{ "}$$

$$\Sigma W = 1 \text{ kg}$$

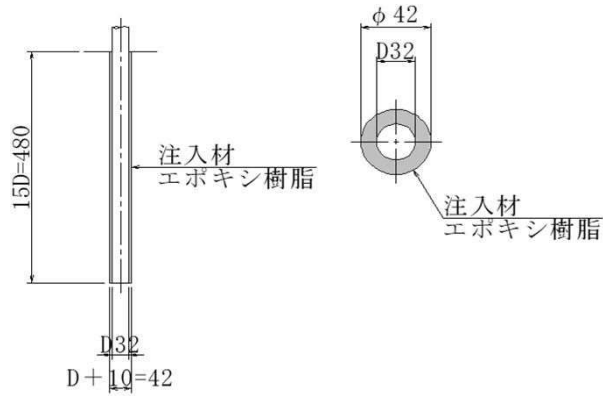
コンクリート構造物取壊し (鉄筋構造物)

$$V = 0.50 \times 0.81 \times 0.50 \times 4 = 0.8 \text{ m}^3$$

コンクリート削孔 (φ42×480)

$$N = 6 \times 4 = 24 \text{ 孔}$$

アンカー(下方向 D32) 数量計算書



100本当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ア ン カ ー 材	SD345	本	100	
ア ン カ ー 材 径		mm	32	30mmを超え,43mm以下
削 孔 深 さ		m	48.0	500mm以下
注 入 材	エポキシ樹脂	kg	38.5	

数量計算

アンカー材 N = 100 本

アンカー材径 D = 32 mm

削孔深 $L = 0.48 \times 100$ = 48.0 m

注入材 $W = 1/4 \times \pi \times (0.042^2 - 0.032^2) \times 0.48 \times 1200^{kg/m^3} \times (1 + 0.15) \times 100$ = 38.5 kg

割増係数

西中谷橋 縁端拡幅撤去復旧工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
コ ン ク リ ー ト	30-8-25BB	m ³	3.9	
型 枠	一般型枠	m ²	14.7	
鉄 筋	D29~D32	SD345	kg	—
	D16~D25	〃	〃	670
	D13	〃	〃	—
	合 計	SD345	〃	670
下 地 処 理	チップング	m ²	5.0	
ア ン カ ー 工	横方向 D25	本	90	
コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m ³	3.9	
コンクリート削孔	φ35×385	孔	90	コアボーリングマシン
支 保	パイプサポート支保	式	1.0	40kN/m2以下

西中谷橋 縁端拡幅撤去復旧工数量計算書

コンクリート (30-8-25BB)

$$V = (0.40 \times 4.50 \times 1.10 - 1/2 \times 0.15 \times 0.15 \times 4.50) \times 2 = 3.9 \text{ m}^3$$

型枠 (一般型枠)

$$\begin{aligned} \text{正面・側面 } \{ (0.46 \times 2 + 4.50) \times 1.10 \} \times 2 &= 11.9 \text{ m}^2 \\ \text{下面 } \{ 0.25 + \sqrt{(0.15^2 + 0.15^2)} \} \times 4.50 \times 2 &= 4.2 \text{ " } \\ \text{控除 } - (0.15 \times 4.50 + 1/2 \times 0.17 \times 0.15 \times 2) \times 2 &= -1.4 \text{ " } \\ \hline \Sigma A &= 14.7 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

鉄筋 (SD345)

a). 質量

D29 ~ D32		
D32	=	— kg
D29	=	— "
w1	=	— kg
D16 ~ D25		
D25	=	384 kg
D22	=	— "
D19	=	— "
D16	=	290 "
w2	=	674 kg
D13	=	— kg
ΣW	=	674 kg

下地処理 (チップング)

$$A = 1.10 \times 4.50 = 5.0 \text{ m}^2$$

アンカー工 (横方向 D25)

$$N = 45 \times 2 = 90 \text{ 本}$$

コンクリート構造物取壊し (鉄筋構造物)

$$V = (0.40 \times 4.50 \times 1.10 - 1/2 \times 0.15 \times 0.15 \times 4.50) \times 2 = 3.9 \text{ m}^3$$

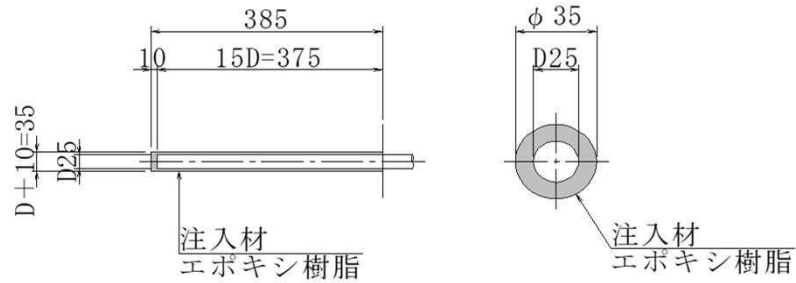
コンクリート削孔 (φ 35×385)

$$N = 45 \times 2 = 90 \text{ 孔}$$

支保 (パイプサポート支保)

1式

アンカー(横方向 D25) 数量計算書



100本当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
アンカー材	SD345	本	100	
アンカー材径		mm	25	23mmを超え,30mm以下
削孔深さ		m	39.0	500mm以下
注 入 材	エポキシ樹脂	kg	26.0	

数量計算

アンカー材 N = 100 本

アンカー材径 D = 25 mm

削孔深 $L = 0.39 \times 100$ = 39.0 m

注入材 $W = 1/4 \times \pi \times (0.035^2 \times 0.39 - 0.025^2 \times 0.38) \times 1200^{\text{kg/m}^3} \times (1 + 0.15) \times 100$ = 26.0 kg

西中谷橋 仮設工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
飛 散 防 止 シ ー ト	メッシュシート	m ²	119	

西中谷橋 仮設工数量計算書

飛散防止シート(メッシュシート)

$$A = 1.9 \times 31.2 \times 2$$

$$= 119 \text{ m}^2$$

西中谷橋 足場工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
単管傾斜足場		式	1	
手摺先行型枠組足場		式	1	
板張防護		m ²	245	
シート張防護		m ²	245	

西中谷橋 足場工数量計算書

単管傾斜足場

1式

手摺先行型枠組足場

1式

板張防護

$$A = 163^{\text{m}^2} + 50^{\text{m}^2} + 1.0 \times 8.2 \times 2 + 1.0 \times 7.9 \times 2 = 245 \text{ m}^2$$

シート張防護

$$A = \text{板張防護より} = 245 \text{ m}^2$$

西中谷橋 殻運搬処理工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
殻 運 搬 処 理	コンクリート舗装版	m ³	0.1	
	アスファルト舗装版	m ³	4.6	
	コンクリート殻(鉄筋)	m ³	4.7	
	コンクリート殻(無筋)	m ³	0.4	
	現場発生品運搬	t	0.04	

西中谷橋 殻運搬処理工数量計算書

殻運搬処理

a). コンクリート舗装版
舗装工より $V = 0.1 \text{ m}^3$

b). アスファルト舗装版
舗装工より $V = 4.6 \text{ m}^3$

c). コンクリート殻 (鉄筋)
変位制限構造・縁端拡幅撤去復旧工より
 $V = 0.8 + 3.9 = 4.7 \text{ m}^3$

d). コンクリート殻 (無筋)
断面修復工より
 $v1 = 1/2 \times 0.2 = 0.1 \text{ m}^3$
※ 修復材の1/2として算出した。
伸縮装置取替工より $v2 = 0.3 \text{ m}^3$
 $V = 0.1 + 0.3 = 0.4 \text{ m}^3$

e). 現場発生品運搬
伸縮装置取替工・防護柵部分取替工・投物防止柵部分取替工・排水装置補修工より
 $W = 0.010 + 0.006 + 0.017 + 0.002 = 0.04 \text{ t}$

小谷跨道橋 ひびわれ充填工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ひ び わ れ 充 填	可とう性エポキシ樹脂	m	3.3	

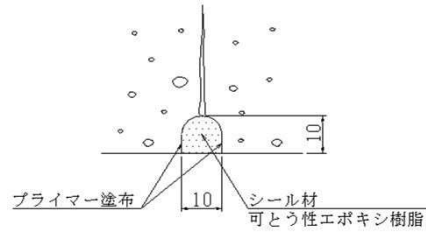
小谷跨道橋 ひびわれ充填工数量計算書

ひびわれ充填(可とう性エポキシ樹脂)

L = ひびわれ充填数量計算書より

= 3.3 m

ひびわれ充填 数量計算書



100m当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
シ ー ル 材	可とう性エポキシ樹脂	kg	13.0	比重1.30
プ ラ イ マ ー 材	エポキシ樹脂	kg	1.0	標準0.5kg/m ² 使用

数量計算

シール材 $W = 0.01 \times 0.01 \times 1300 \text{ kg/m}^3 \times 100.0 \text{ m} = 13.0 \text{ kg}$

プライマー材 $W = 0.01 \times 2 \times 0.5 \text{ kg/m}^2 \times 100.0 \text{ m} = 1.0 \text{ kg}$

小谷跨道橋 止水材取替工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
止 水 材	シリコーン#70同等品以上	m ³	0.2	
プ ラ イ マ ー 塗 布	シリコーン用	m ²	11.2	
バ ッ ク ア ッ プ 材	発泡ポリウレタン	m ²	5.3	

小谷跨道橋 止水材取替工数量計算書

止水材 (シリコーン#70同等品以上)

銅板隙間部目地	$0.03 \times 0.02 \times 87.50 \times 2$	=	0.1 m ³
収縮目地	$1/2 \times 0.06 \times 0.03 \times (0.55 + 0.75) \times (10 + 10)$	=	0.02 "
膨張目地	$(1/2 \times 0.06 \times 0.03 + 0.01 \times 0.03) \times (0.55 + 0.75) \times (9 + 9)$	=	0.03 "
		ΣV =	0.2 m ³

プライマー塗布 (シリコーン用)

銅板隙間部目地	$0.02 \times 2 \times 87.50 \times 2$	=	7.0 m ²
収縮目地	$\sqrt{(0.03^2 + 0.03^2)} \times 2 \times (0.55 + 0.75) \times (10 + 10)$	=	2.2 "
膨張目地	$\sqrt{(0.03^2 + 0.03^2)} \times 2 \times (0.55 + 0.75) \times (9 + 9)$	=	2.0 "
		ΣA =	11.2 m ²

バックアップ材 (発泡ポリウレタン)

A =	$0.03 \times 87.50 \times 2$	=	5.3 m ²
-----	------------------------------	---	--------------------

小谷跨道橋 排水管部分取替工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
排 水 管	□-210×110	m	1.2	
イ ン ナ ー ソ ケ ッ ト	□-210×110用	個	2	
排 水 管 撤 去	□-210×110	m	1.0	
切 断	□-210×110	箇所	1	

小谷跨道橋 排水管部分取替工数量計算書

排水管 (VP □-210×110)

L = 1.2 m

インナーソケット (□-210×110用)

N = 2 個

排水管撤去 (VP □-210×110)

L = 1.0 m

切断 (VP □-210×110)

N = 1 箇所

小谷跨道橋 足場工数量集計表

1式当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
片側朝顔防護足場	シート+板張防護	m ²	263	朝顔・床面,朝顔防護含む 【昼間作業】
			54	朝顔・床面,朝顔防護含む 【夜間作業】
単管傾斜足場		式	1	
板張防護		m ²	240	
シート張防護		m ²	240	

小谷跨道橋 足場工数量計算書

片側朝顔防護足場(シート+板張防護)

小谷跨道橋足場工図(参考図)参照

全長88.0mのうち、73.0mは【昼間作業】とし、15.0mは【夜間作業】とする。

【昼間作業】

$$A = (0.8 + 1.0) \times 73.0 \times 2 = 263 \text{ m}^2$$

【夜間作業】

$$A = (0.8 + 1.0) \times 15.0 \times 2 = 54 \text{ m}^2$$

※ 朝顔・床面,朝顔防護を含む。

単管傾斜足場

1式

板張防護

$$\text{A1橋台部 } 4.8 \times 9.2 + 38.1^{\text{m}^2} + 1.0 \times 4.8 + 1.0 \times 4.8 = 92 \text{ m}^2$$

$$\text{P1橋脚部 } 7.6 \times (9.0 + 1.0 \times 2) + 3.1 \times (3.0 + 3.0 + 2.2) = 109 \text{ "}$$

$$\text{A2橋台部 } 5.7 \times 1.6 + 1/2 \times 7.1 \times 6.7 + 1.0 \times 5.7 = 39 \text{ "}$$

$$\Sigma A = 240 \text{ m}^2$$

シート張防護

$$\text{A1橋台部 } 4.8 \times 9.2 + 38.1^{\text{m}^2} + 1.0 \times 4.8 + 1.0 \times 4.8 = 92 \text{ m}^2$$

$$\text{P1橋脚部 } 7.6 \times (9.0 + 1.0 \times 2) + 3.1 \times (3.0 + 3.0 + 2.2) = 109 \text{ "}$$

$$\text{A2橋台部 } 5.7 \times 1.6 + 1/2 \times 7.1 \times 6.7 + 1.0 \times 5.7 = 39 \text{ "}$$

$$\Sigma A = 240 \text{ m}^2$$